



私たちが社会に対して出来ること

～障がいを持つ人への働く工夫～

有限会社奥進システム 奥脇 学

レジエメ

- 弊社のご紹介と状況
- 企業市民としての弊社の活動

業務内容

- 受託ソフトウェア開発業
- お客さんからの要望を聞き、1からプログラムを製造する。
- 特にWeb技術に特化（Webブラウザで利用できるもの）
- 顧客管理システム
- 受発注管理システム
- ショッピングサイト

弊社の障がい者雇用への背景

- システム開発＝分散開発可能
- 在宅勤務ベース
- SOHO、母子家庭、障がい者

弊社の雇用状況

- スタッフ6名
- 障がいを持つ方: 4名
 - 頚椎損傷: 2名、内部障害(透析): 1名
 - 精神障害: 1名
- 母子家庭の母親: 2名

きっかけ

- ・大阪市障害者職業リハビリテーションセンターからの紹介
- ・在宅勤務希望
- ・「社会と関わっていたい」という強い希望
- ・駄目で元々、3ヶ月実習

1人目、入社時の考慮

- 今までの事務所たたむ（階段だから）
- エレベータのあるパートナーさん事務所を間借り（1週間に1度出社）
- 駅から会社まで付き添い
- 食事、飲み物の用意、室温、書類整備、ノート取り
- 足の移動、尿のつまり、霧吹き等など
- 年一度の家庭訪問

2人目、入社時の考慮

頚椎損傷、2人目

- 大阪市職業リハビリテーションセンターの後輩
- 在宅勤務が嫌。それじゃ事務所借りよう。

バリアフリー化事例、トイレ前段差改装前



バリアフリー化事例、トイレ前段差改装後



バリアフリー化事例、トイレ改装前



バリアフリー化事例、トイレ改装後



バリアフリー化事例、引き戸



バリアフリー化事例、折りたたみベット



バリアフリー化事例

介護リフト



作業風景 1



作業風景 2



3人目以降、入社時の考慮

視覚障がいのスタッフ（退職）

- 視覚障がい用に大画面のディスプレイ

内部障がい（透析）のスタッフ

- 短時間勤務

精神障がいのスタッフ

- 振り返り、細かなフォロー

現状

- 1人目の障がいをもつスタッフは、
技術のリーダー
- 作業効率、全く問題なし
- 人を思いやることが、自然と出来る社風
- 仕事にも影響
- お客さんを幸せにするシステムづくり
- 同じ障がいを持っている人への勇気

なぜ？（経営理念）

・基本理念

私たちと、私たちに関わる人たちが、
とてもしあわせと思える社会づくりをめざします。

・経営理念 進取・自立・奉仕

奉仕

経営活動を行ううえで、社会に対し出来ることは「ついでに」積極的に取り組んでいこうという意味です。

「ついでに」というのは「常に意識をもって」ということで、社会に対する私達の役割、そして意味、また周りの環境で最大限弊社が出来ることを常に心がけて実行しようという意味です。

けっして奉仕活動ばかりしようという意味ではなく、経営活動を行ううえで社会に対し、顧客に対し、取引先に対して「出来ること」を常に考えて、そして惜しみなくその労力を使おうという意味が込められています。

弊社の例

- プラクティカルジョブサポート
- インド人(システム開発ノウハウ)
- 発達障がい、うつ病復職支援バイト
- 支援学校、支援機関等の職場実習
- 各関係機関との連携
 - NPO法人大阪障害者雇用支援ネットワーク、
 - NPO法人大阪精神障害就労支援ネットワーク、
 - 中小企業家同友会、親の会(LD親の会)、
 - (社)全国重度障害者雇用事業所協会、福祉施設、学校
- ホームページ作成・システム開発支援

まとめ

- ・ついでに出来ることは、効率のよい社会貢献
- ・人の問題は机上の空論より、トライ＆エラー
- ・障がいとは、理解と支援を必要とする個性。
そこから気付くことは多い